平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　ユニチカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3103　URL　http://www.unitika.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 安江　健治
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 石川　省二　TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	78,307	2.8	3,119	34.6	2,255	362.2	1,648	―
25年3月期第2四半期	76,152	△12.5	2,317	△52.6	487	△81.2	△931	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　2,690百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△625百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.86	―
25年3月期第2四半期	△1.62	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	260,956	24,007	7.8
25年3月期	255,054	21,317	7.0

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　20,283百万円　25年3月期　17,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	3.0	7,500	35.9	4,000	3.8	2,000	―	3.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	577,523,433 株	25年3月期	577,523,433 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	775,023 株	25年3月期	766,802 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	576,753,182 株	25年3月期2Q	576,153,196 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
５．補足資料 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、政府が主導する経済政策や日本銀行の金融政策の効果、堅調な米国景気と円安による輸出環境の改善、個人消費にも回復の兆しが表れるなど緩やかな回復基調に転じましたが、エネルギーコストの上昇や中国の景気減速の懸念が依然残るなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営３カ年計画『Change & Challenge ’14』に掲げる成長戦略などの施策や価格改定といった事業環境の変化に対応する施策を早期に実行し、高分子事業を中心とする機能資材メーカーとしての基盤強化や低採算事業の収益改善に努めてまいりました。この結果、当第２四半期連結累計期間につきましては、売上高は78,307百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は3,119百万円(同34.6%増)、経常利益は2,255百万円(同362.2%増)、四半期純利益は1,648百万円(前年同四半期は931百万円の損失)となりました。

なお、中間配当につきましては、引き続き見送ることとさせていただきましたので、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の状況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は、緩やかな需要の回復局面にあり、販売数量、売上ともに増加しました。一方、工業分野は、電気・電子機器用途の回復の遅れにより、販売数量、売上ともに減少しました。また、原燃料価格の上昇に伴う製品価格改定を行いましたが、効果発現までのタイムラグもあったため、事業全体で増収減益となりました。

樹脂事業では、ナイロン樹脂は、自動車用途の販売が堅調に推移し、当社独自のポリアリレート樹脂「Ｕポリマー」や共重合ポリエステル樹脂「エリーテル」は、スマートフォンなどの情報端末機器用途で堅調に推移しました。また、前期に本格的に販売を開始した環境配慮型の水性エマルション「アローベース」の拡販が順調に進捗しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

不織布事業では、ポリエステルスパンボンドは、建築資材用途が伸び悩みましたが、除染廃棄物処理用の「エルベスキャッピングシート」などの受注が増加し、輸出の採算改善もあり、収益は増加しました。コットンスパンレースは、猛暑の影響からウェットシート用途の販売数量が回復するなど、売上は増加しましたが、製造コスト等の上昇などにより、収益は減少しました。この結果、事業全体で増収増益となりました。

バイオマスプラスチック「テラマック」は、フィルム、樹脂、不織布、繊維の各分野で積極的に展開しています。フィルム・樹脂分野で販売数量は若干減少しましたが、不織布・繊維分野で回復し、反転の兆しが見えつつあります。

以上の結果、高分子事業の売上高は32,487百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は3,205百万円（同6.9%減）となりました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、産業資材分野の建築・土木改修用途が堅調に推移するとともに、その他の用途でも需要がやや回復し売上が増加しました。電子材料分野のＩＣクロスは、スマートフォン用途への販売強化が奏功し、採算が改善しました。ガラスビーズ事業では、工業用途は市況が回復したため販売数量が拡大し、ロードマーキング用途も需要が回復し売上は増加しましたが、反射材用途は欧州の市況が依然回復せず売上は伸び悩みました。また、活性炭繊維は、水栓内蔵型などの浄水器用途、自動車用途、廃液処理用途が堅調に推移しました。

以上の結果、機能材事業の売上高は7,171百万円（同2.1%増）、営業利益は875百万円（同86.3%増）となりました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木分野で震災復興の遅れや市場での競争激化などから低調に推移しましたが、ポリエステル短繊維は、特殊バインダー繊維などで輸出を中心に需要が増加し、収益は改善しました。アスベスト代替のセメント補強用ビニロン繊維は、新興国での拡販に努めた結果、受注は増加しましたが、主要な販売先である欧州の市況は依然低迷し、全体としては販売数量の回復には至りませんでした。また、ビニロンフィラメントは、北米向けの輸出が堅調でしたが、欧州向けの輸出は低調に推移しました。

衣料繊維事業では、ユニフォーム分野は、白衣・サービスユニフォームは引き続き堅調でしたが、ワーキングはアパレルの在庫調整などにより売上が減少し、円安による海外生産品のコスト上昇などにより、収益も減少しました。また、スポーツ・レディス分野は、海外品との競合により減収となりましたが、高付加価値品の販売は堅調に推移しました。

以上の結果、繊維事業の売上高は32,524百万円（同1.1%減）、営業損失は142百万円（前年同四半期は348百万円の損失）となりました。

【その他】

生活健康事業では、発売10周年の記念キャンペーンを実施した健康食品「白幻鳳凰」や機能性食品原料のラクトビオン酸、アラビノースは堅調に推移しましたが、飼料原料、セラミドを中心とした食品原料は低調で、売上は伸び悩みました。メディカル事業では、医用材料分野は、新製品クワッドルーメンタイプの販売が順調な循環系カテーテルや排液系カテーテルの売上が伸長し、生化学分野は、酵素が欧州向けの輸出が回復するとともに、診断薬は国内向けの売上が伸長し、収益は増加しました。

不動産関連事業では、マンション販売が堅調に推移しました。

以上の結果、その他の売上高は6,124百万円（前年同四半期比8.3％増）、営業利益は466百万円（同135.4％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ5,902百万円増加し、260,956百万円となりました。これは、主として売上債権が減少したものの、現金及び預金、たな卸資産が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,212百万円増加し、236,948百万円となりました。これは、主として仕入債務が減少したものの、借入金が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ2,690百万円増加し、24,007百万円となりました。これは、主として利益剰余金が増加したことによります。

また、キャッシュ・フローの状況については次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益に減価償却費を加えたキャッシュ・イン・フロー、売上債権の減少などにより、1,383百万円の資金の増加（前年同四半期比73.6％減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴い2,524百万円を支出したことなどにより、1,545百万円の資金の減少（前年同四半期は1,734百万円の資金の減少）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加などにより、6,525百万円の資金の増加（前年同四半期比3.6％減）となりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6,520百万円増加し、当第２四半期連結累計期間末には26,157百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第２四半期連結累計期間の連結業績につきましては、当初予想を上回る実績となりましたが、通期の連結業績予想につきましては、依然として先行き不透明な状況が続いておりますので、現時点にて修正はありません。

今後の業績の推移に応じて、修正が必要であると判断した場合には、速やかに公表いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、当期純損失10,875百万円を計上した結果、株主資本が18,663百万円となり、一部の長期借入金（前連結会計年度末残高4,600百万円）の借入契約に付されている財務制限条項（決算期及び第２四半期の末日における株主資本基準等）に抵触しておりましたが、当第２四半期連結会計期間において当該長期借入金を完済したため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

引き続き、収益の抜本的な改善を図るべく、事業構造改善及び固定費削減に取り組み、高分子、機能材分野を中心とした成長分野への経営資源の集中を図り、事業力の改善・強化に向けた成長戦略を推進し、業績の回復に努めてまいります。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,668	26,180
受取手形及び売掛金	36,339	31,589
たな卸資産	39,776	42,865
その他	4,660	4,783
貸倒引当金	△170	△165
流動資産合計	100,274	105,255
固定資産		
有形固定資産		
土地	103,163	103,187
その他（純額）	45,265	46,468
有形固定資産合計	148,428	149,656
無形固定資産		
のれん	14	12
その他	800	895
無形固定資産合計	815	908
投資その他の資産		
その他	5,860	5,413
貸倒引当金	△325	△277
投資その他の資産合計	5,535	5,136
固定資産合計	154,779	155,701
資産合計	255,054	260,956

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,067	18,483
短期借入金	68,433	69,381
1年内返済予定の長期借入金	32,925	32,391
未払法人税等	756	568
賞与引当金	1,567	1,502
事業構造改善引当金	1,087	513
その他	11,724	11,553
流動負債合計	138,562	134,394
固定負債		
長期借入金	65,162	71,995
退職給付引当金	7,752	8,288
役員退職慰労引当金	53	26
その他	22,205	22,243
固定負債合計	95,173	102,554
負債合計	233,736	236,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,298	26,298
資本剰余金	4,385	4,385
利益剰余金	△11,976	△10,327
自己株式	△44	△44
株主資本合計	18,663	20,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114	189
繰延ヘッジ損益	6	△3
土地再評価差額金	2,979	2,979
為替換算調整勘定	△3,954	△3,193
その他の包括利益累計額合計	△854	△28
少数株主持分	3,508	3,724
純資産合計	21,317	24,007
負債純資産合計	255,054	260,956

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	76,152	78,307
売上原価	61,980	63,714
売上総利益	14,171	14,592
販売費及び一般管理費	11,853	11,473
営業利益	2,317	3,119
営業外収益		
受取利息	67	70
受取配当金	57	53
為替差益	－	445
持分法による投資利益	－	3
その他	450	499
営業外収益合計	575	1,072
営業外費用		
支払利息	1,538	1,472
持分法による投資損失	31	－
その他	834	464
営業外費用合計	2,405	1,936
経常利益	487	2,255
特別利益		
固定資産売却益	590	－
投資有価証券売却益	－	275
投資有価証券清算分配金	－	186
負ののれん発生益	48	－
特別利益合計	638	462
特別損失		
固定資産処分損	241	292
投資有価証券評価損	180	－
その他	226	208
特別損失合計	648	501
税金等調整前四半期純利益	478	2,216
法人税、住民税及び事業税	218	425
法人税等調整額	1,196	120
法人税等合計	1,415	546
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△936	1,669
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△5	21
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△931	1,648

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△936	1,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	74
繰延ヘッジ損益	△20	△9
為替換算調整勘定	351	955
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	－
その他の包括利益合計	311	1,020
四半期包括利益	△625	2,690
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△679	2,474
少数株主に係る四半期包括利益	54	216

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	478	2,216
減価償却費	2,721	2,468
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△10	△56
退職給付引当金の増減額（△は減少）	374	500
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	△63	△573
その他の引当金の増減額（△は減少）	△277	△93
支払利息	1,538	1,472
固定資産売却損益（△は益）	△590	－
固定資産処分損益（△は益）	241	292
投資有価証券評価損益（△は益）	180	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△11	△275
投資有価証券清算分配金	－	△186
売上債権の増減額（△は増加）	4,800	4,972
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,354	△2,889
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,587	△3,889
その他	842	△619
小計	6,992	3,338
利息及び配当金の受取額	124	123
利息の支払額	△1,496	△1,467
法人税等の支払額	△386	△611
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,234	1,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△2	9
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	139	759
有形固定資産の取得による支出	△2,689	△2,524
有形固定資産の売却による収入	910	14
その他	△80	206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,734	△1,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,988	518
長期借入れによる収入	25,842	27,431
長期借入金の返済による支出	△16,881	△21,240
その他	△202	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,770	6,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	157
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	10,262	6,520
現金及び現金同等物の期首残高	15,339	19,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,601	26,157

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	高分子事業	機能材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,575	7,026	32,897	70,499	5,652	76,152	－	76,152
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	27	125	164	1,188	1,352	△1,352	－
計	30,586	7,054	33,023	70,664	6,840	77,504	△1,352	76,152
セグメント利益又は損失（△）	3,442	469	△348	3,563	198	3,761	△1,443	2,317

（注）１．その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,443百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	高分子事業	機能材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,487	7,171	32,524	72,183	6,124	78,307	－	78,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	31	136	176	839	1,015	△1,015	－
計	32,495	7,202	32,661	72,359	6,963	79,323	△1,015	78,307
セグメント利益又は損失（△）	3,205	875	△142	3,938	466	4,404	△1,285	3,119

（注）１．その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,285百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

５．補足資料

①業績及び２６年３月期業績予想（連結）

（百万円）

			売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連　結	２４／３	年　間	174,662	9,579	5,753	1,297
	２５／３	第２Ｑ	76,152	2,317	487	△ 931
		年　間	160,190	5,519	3,853	△ 10,875
	２６／３	第２Ｑ	78,307	3,119	2,255	1,648
		年間(予想)	165,000	7,500	4,000	2,000
	前年比較	第２Ｑ	2,154	801	1,767	2,579
		年間(予想)	4,810	1,981	147	12,875

②セグメント情報（連結）

（百万円）

			高分子	機能材	繊　維	その他	消去・全社	連　結
前年実績	２４／９	外部売上高	30,575	7,026	32,897	5,652	―	76,152
		構成比(%)	40.1	9.2	43.2	7.4	―	100.0
		営業利益	3,442	469	△ 348	198	△ 1,443	2,317
		構成比(%)	148.6	20.2	△ 15.0	8.5	△ 62.3	100.0
	２５／３	外部売上高	61,217	14,081	67,714	17,177	―	160,190
		構成比(%)	38.2	8.8	42.3	10.7	―	100.0
		営業利益	6,989	1,163	△ 370	1,324	△ 3,588	5,519
		構成比(%)	126.6	21.1	△ 6.7	24.0	△ 65.0	100.0
当期実績	２５／９（実績）	外部売上高	32,487	7,171	32,524	6,124	―	78,307
		構成比(%)	41.5	9.2	41.5	7.8	―	100.0
		営業利益	3,205	875	△ 142	466	△ 1,285	3,119
		構成比(%)	102.8	28.1	△ 4.6	14.9	△ 41.2	100.0
	２６／３（予想）	外部売上高	67,500	14,500	66,500	16,500	―	165,000
		構成比(%)	40.9	8.8	40.3	10.0	―	100.0
		営業利益	7,100	1,600	800	1,100	△ 3,100	7,500
		構成比(%)	94.7	21.3	10.7	14.7	△ 41.3	100.0
前年比較	２５／９（実績）	外部売上高	1,911	144	△ 372	471	―	2,154
		増減率(%)	6.3	2.1	△ 1.1	8.3	―	2.8
		営業利益	△ 237	405	206	268	158	801
		増減率(%)	△ 6.9	86.3	―	135.4	△ 11.0	34.6
	２６／３（予想）	外部売上高	6,283	419	△ 1,214	△ 677	―	4,810
		増減率(%)	10.3	3.0	△ 1.8	△ 3.9	―	3.0
		営業利益	111	437	1,170	△ 224	488	1,981
		増減率(%)	1.6	37.6	―	△ 16.9	△ 13.6	35.9

③設備投資実施額・減価償却費（有形固定資産）・研究開発費・有利子負債・金融収支・正従業員数（連結）

（百万円、人）

		設備投資実施額	減価償却費	研究開発費	有利子負債(期末)	金融収支	正従業員数（人）
２４／３	年　間	8,105	5,730	4,012	173,208	△ 3,006	4,745
２４／９	第２Ｑ	2,977	2,625	2,228	180,078	△ 1,413	4,797
２５／３	年　間	6,095	5,480	4,345	166,521	△ 2,808	4,534
２５／９	第２Ｑ	2,623	2,377	1,888	173,768	△ 1,347	4,503
２６／３	年間(予想)	6,495	5,226				

④キャッシュ・フロー（連結）

（百万円）

		営業活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	投資活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	財務活動によるｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	現金及び現金同等物の期末残高
２４／３	年　間	10,798	△ 7,449	△ 4,393	15,339
２４／９	第２Ｑ	5,234	△ 1,734	6,770	25,601
２５／３	年　間	16,040	△ 4,404	△ 7,432	19,636
２５／９	第２Ｑ	1,383	△ 1,545	6,525	26,157